

## 第6回 平成23年10月19日(水)



第6回の一流塾は、講師に三枝匡氏(㈱ミスミグループ本社 代表取締役会長・CEO)、岩田彰一郎氏(アスクル(㈱) 代表取締役社長兼CEO)をお迎えしました。



三枝 匡 氏

三枝氏は、『日本の経営リーダーに求められるもの - 日本企業の強さ再構築をめざして - 』と題し、企業再生のスペシャリストとして活躍されたご自身の経験に基づき、1960年代から1990年代の日米企業の凋落・復興の原因について、経営論を切り口に鋭い分析をご披露頂きました。そして、日本企業が強さを取り戻すためには、単純に米国企業の後追いをするのではなく、日本的経営の強み、弱みをきちんと理解し、強いフレームワークを発信することができる経営力をもったリーダーが必要である。経営者はもっと経営リテラシーを磨かなければならない、と檄を飛ばされました。企業再生の現場で多くの修羅場を経験してきた三枝氏の迫力ある語り口に塾生は熱心に聞き入り、講義後も活発な質疑が行われ、「非常に危機感のある迫りに満ちた講義に感銘を受けた」「経営者としての心構えについてお話を頂き大変刺激を受けた」「経営者として勉強不足を痛感し、自己啓発について強いモチベーションを頂いた」等の声がありました。



岩田彰一郎 氏

岩田氏は、『Web時代のマーケティング』と題し、アスクルがお客様志向を成長エンジンとし、“社会最適”の流通モデルを構築してきた経緯を、創業時のエピソード等をお話頂きました。また、20世紀末の約10年間で流通構造に劇的な変化が生じ、21世紀は業種の垣根を越え新たな競争が始まっている。ノンコア業務の外注化、循環型社会の到来、といった経営の環境の変化に対応して、お客様志向で対応しなければならないとの見解を示し、今回の大震災における対応や「お客様のために」を進化させるアスクルの新たな取り組みのほか、ソーシャルマーケティングとして社会貢献の取り組みについてもご紹介頂きました。塾生からは、「顧客志向の大切さを改めて再認識した」、「お客様の要望に応えるチャレンジ精神、パイオニア精神に感銘を受けた」等の声がありました。

講義後の懇親会では、安倍晋三氏(衆議院議員、元内閣総理大臣)を特別ゲストとしてお迎えしました。安倍氏と一柳塾長は同時期に大臣秘書官を務めて以来の旧知の仲で、多忙な中ご参加頂き、総理大臣時代のご経験を踏まえて震災復興政策や外交政策の考え方、民主党政権の外交政策に関する分析を披露頂きました。その後、塾生との活発な意見交換に応じて頂きました。

また、懇親会には、塾特別顧問の福川伸次氏(財団法人機械産業記念事業財団会長)もかけつけて頂き、危機管理政策についての充実強化について卓話を頂くとともに、塾生への励ましのお言葉を頂きました。

一流塾の志向する、「本物と出会い、本物から学ぶ」を实践する絶好の機会に、塾生からは“本物”に直接触れて大変感激した、もっとお話を伺いたかった、等の声が多くあげられました。



安倍晋三 氏



福川伸次 氏

